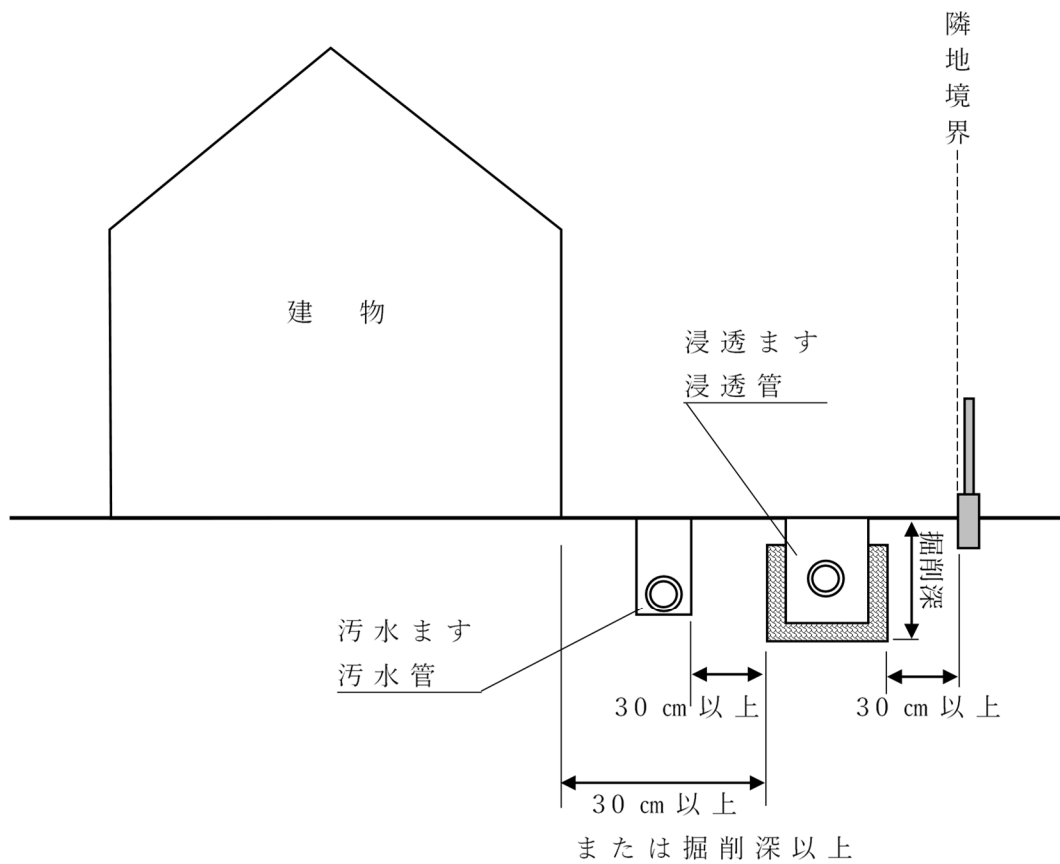


雨水浸透施設等の設計・施工資料

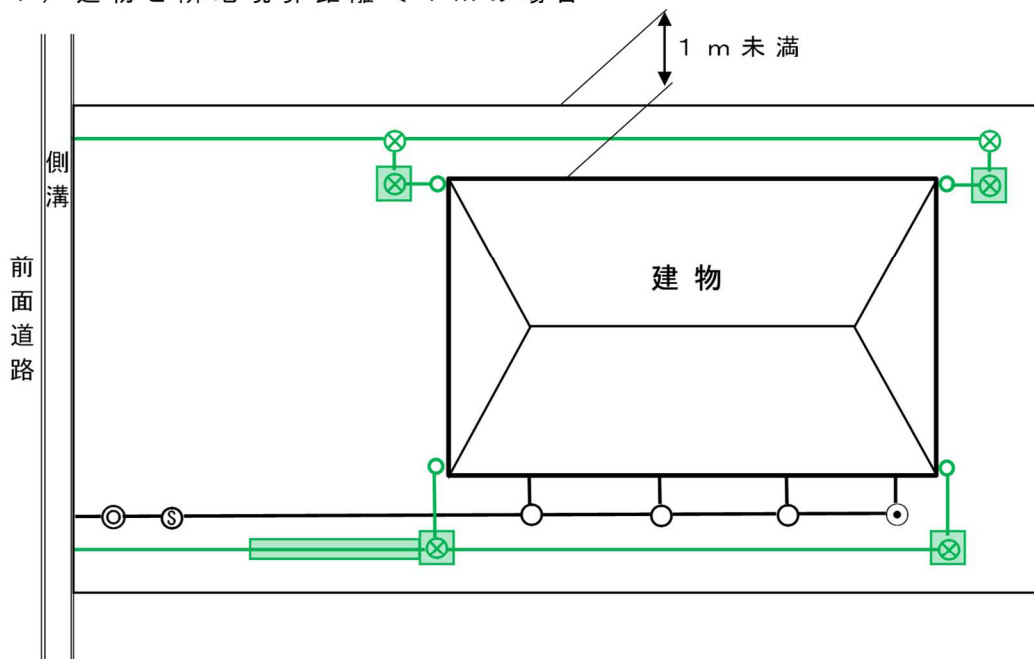
1. 構造物との離隔図
2. 宅地における設置例
3. 雨水浸透ます等の望ましい口径について
4. 施工方法及び手順
5. 写真撮影について

1. 構造物との離隔図

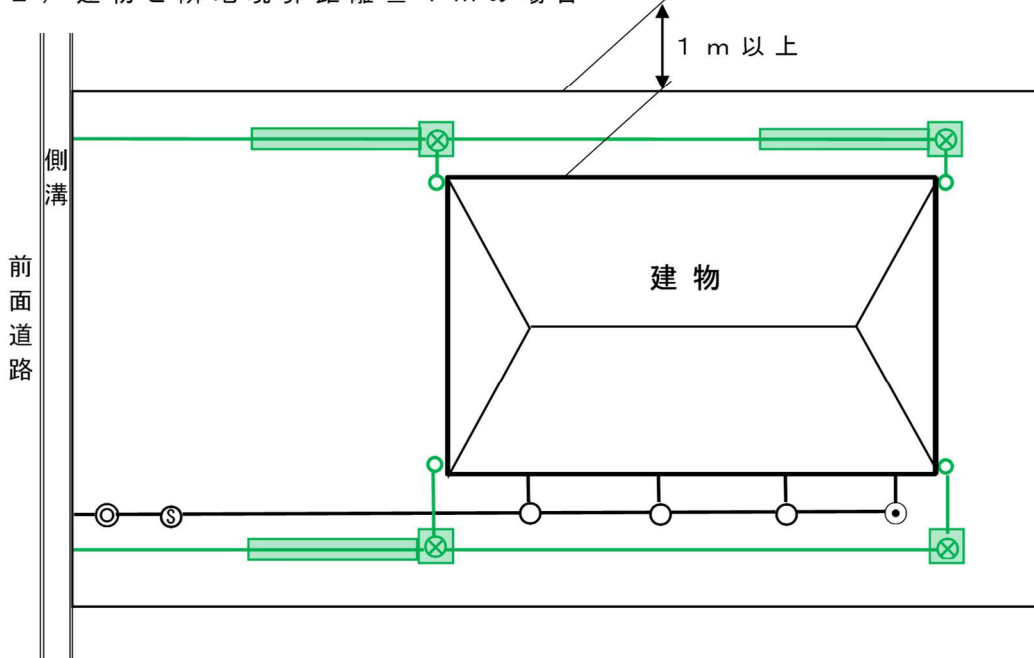


2. 宅地における設置例

(1) 建物と隣地境界距離 < 1 m の場合



(2) 建物と隣地境界距離 ≥ 1 m の場合



凡 例					
◎	公共ます	⊗	雨水ます	—	污水管
⊙	溜めます	⊗	浸透ます	—	雨水管
○	汚水ます	○	雨どい	—	浸透管
Ⓢ	段差ます				

3. 雨水浸透ます等の望ましい口径について

雨水浸透ます等の望ましい口径を以下のとおりとします。ただし、離隔等の設置条件を満たす必要があります。

- ・下表のとおり屋根面積に対応した口径とする。
(※雨水浸透施設標準構造図【参考図】による場合)

雨水浸透ます1基当たり 屋根面積(m ²)	雨水浸透ますの口径(mm)				
		φ 150	φ 200	φ 250	φ 300
	~35	~40	~45	~50	~60

離隔等の設置条件を満たす場合は、できるだけ大きな口径が望ましい。

- ・雨水浸透ますの口径別の単位浸透量(m³/hr・個)
(※雨水浸透施設標準構造図【参考図】による場合)

土 質	雨水浸透ますの口径(mm)				
細 砂 (粒径0.1~0.25mm)	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350
	1.57	1.91	2.04	2.39	2.74

- ・雨水浸透管の口径について
(※雨水浸透施設標準構造図【参考図】による場合)

雨水浸透管1m当たり 屋根面積(m ²)	雨水浸透管の口径(mm)				
		φ 75	φ 100	φ 125	φ 150
	~19	~20	~21	~22	~24

- ・浸透管の口径別の単位浸透量(m³/hr・m)
(※雨水浸透施設標準構造図【参考図】による場合)

土 質	雨水浸透管の口径(mm)				
細 砂 (粒径0.1~0.25mm)	φ 75	φ 100	φ 125	φ 150	φ 200
	0.86	0.91	0.95	1.01	1.10

4. 施工方法及び手順

- ① 掘削は、浸透に必要な大きさとし、余掘りは行わない。
 - ア シャベル等で掘削する場合、地山斜面を剥ぐように掘り、浸透面が平滑にならないように仕上げる。
 - イ 浸透面は締め固めない。
 - ウ 機械掘削の場合も、側面、底面はスコップ等を用いて人力で整形する。
- ② 掘削後、直ちに敷砂工を行う。ただし、浸透対象地盤が砂レキの場合には敷砂は行わない。
 - ア 床付け面は踏み固めない。そのため、掘削完了後、ただちに遮断層用の砂を敷く。
 - イ 敷き砂は足で軽く締め固める程度とし、タンパ等の機械での転圧を行わない。
- ③ 透水性シートを浸透面（掘削面）全体に敷く。
- ④ 底部に単粒度碎石（4号20～30mm）または（5号13～20mm）を入れる。
- ⑤ 浸透ます等を据え付ける。
- ⑥ 周囲に単粒度碎石を入れる。
 - ア 単粒度碎石の転圧は、沈下や陥没防止のためある程度やむを得ないが、碎石部分の透水能力や貯留量に影響するため、転圧の回数や方法に十分配慮する。
- ⑦ 透水シートで単粒度碎石の上面を覆う。
 - ア 浸透ます等の目詰まりを防止するため、周囲の土が単粒度碎石上に落ちないように透水シートを設置する。
- ⑧ 埋め戻しする。
 - ア 埋め戻し土の転圧は、タンパ等で十分締め固める。なお、単粒度碎石のかみ合わせ等による初期沈下が起きる恐れがあるため、埋め戻し後1～2日は注意する必要がある。
 - イ 掘削及び埋め戻し時に、土砂、埋め戻し土などが浸透ます等の単粒度碎石部に入らないように十分注意して施工する。
- ⑨ 必要に応じて、浸透ます等に目詰まり防止対策を講ずる。
- ⑩ 残土処分をする。
- ⑪ 清掃、片付けを行う。
 - ア 施工中、浸透施設内に土砂が流入しないように、仮蓋をしておくなど配慮する。
 - イ 浸透ます等の近くで一般工事を行う場合はシートを敷くなどして、残土や廃液等が浸透ますに入り込まないように注意する。
 - ウ 施工完了後、浸透ます等の清掃を行う。
- ⑫ 雨水浸透ますの碎石代替製品についてはメーカーが指定する施工方法に従う。

5. 写真撮影について

※黒板には工事名を明記すること

(1) 雨水貯留槽の写真撮影

① 市販の雨水貯留槽設置の場合

ア 着工前

イ 完成後

② 浄化槽転用による場合

ア 着工前

イ 施工中(雨水流入管およびポンプから水栓までの配管状況の写真)

ウ 完成後(貯留槽内部)

(2) 雨水浸透ます等の写真撮影

ア 着工前

イ 施工中

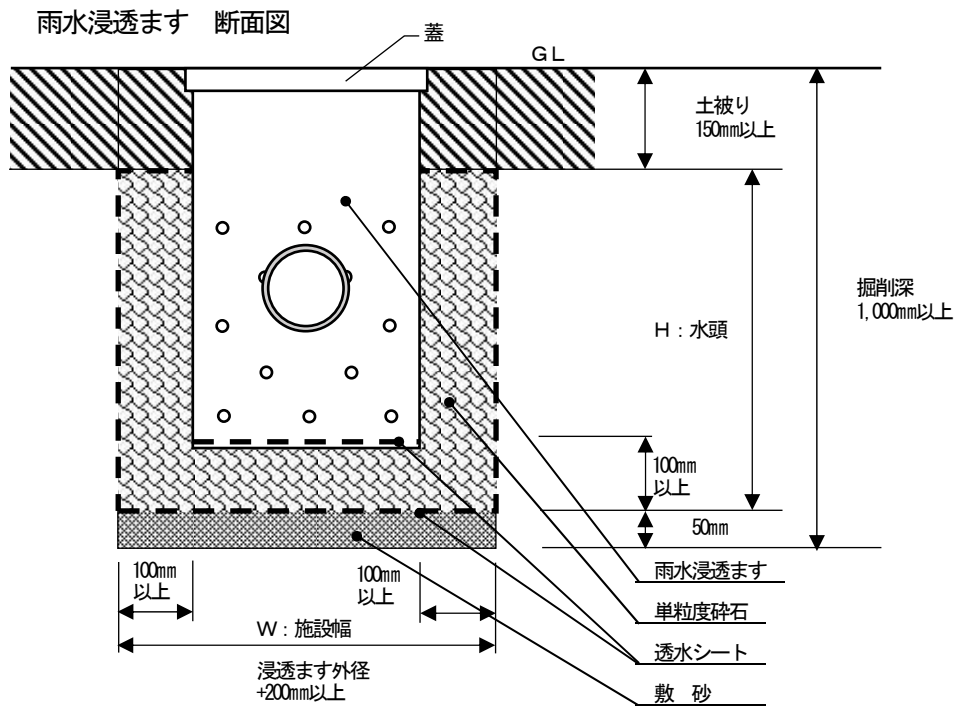
- ・ 掘削完了(地表から掘削底部までの深さ検尺)
- ・ 敷き砂工
- ・ 透水性シート敷き
- ・ 単粒度碎石投入(雨水浸透ます等の設置前)
- ・ 雨水浸透ます等の設置
- ・ 単粒度碎石投入(雨水浸透ます等の設置後)
- ・ 埋戻し前(透水性シートで単粒度碎石の上面を覆った状況の写真)
- ・ 埋戻し(中間)

ウ 完成後

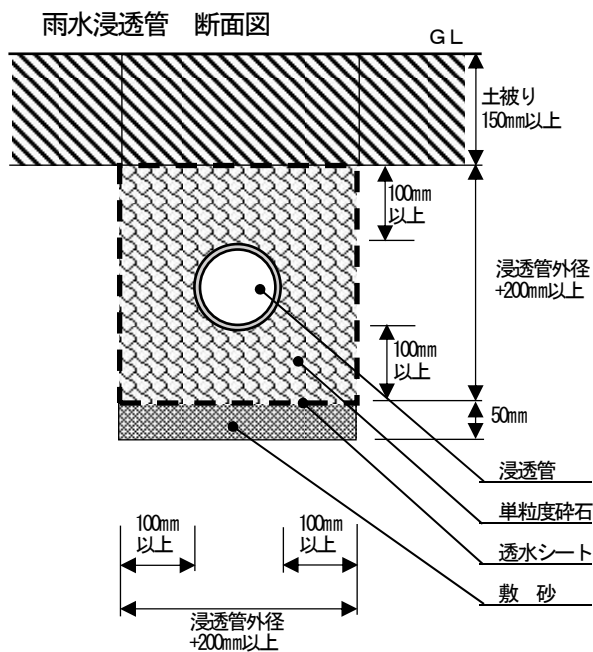
エ 完成後(雨水浸透ますの内部)

オ 材料検収

<雨水浸透施設標準構造図>【参考図】



浸透樹口径	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350
H : 水 頭	600mm	600mm	650mm	650mm	650mm
W : 施設幅	400mm	500mm	500mm	600mm	700mm

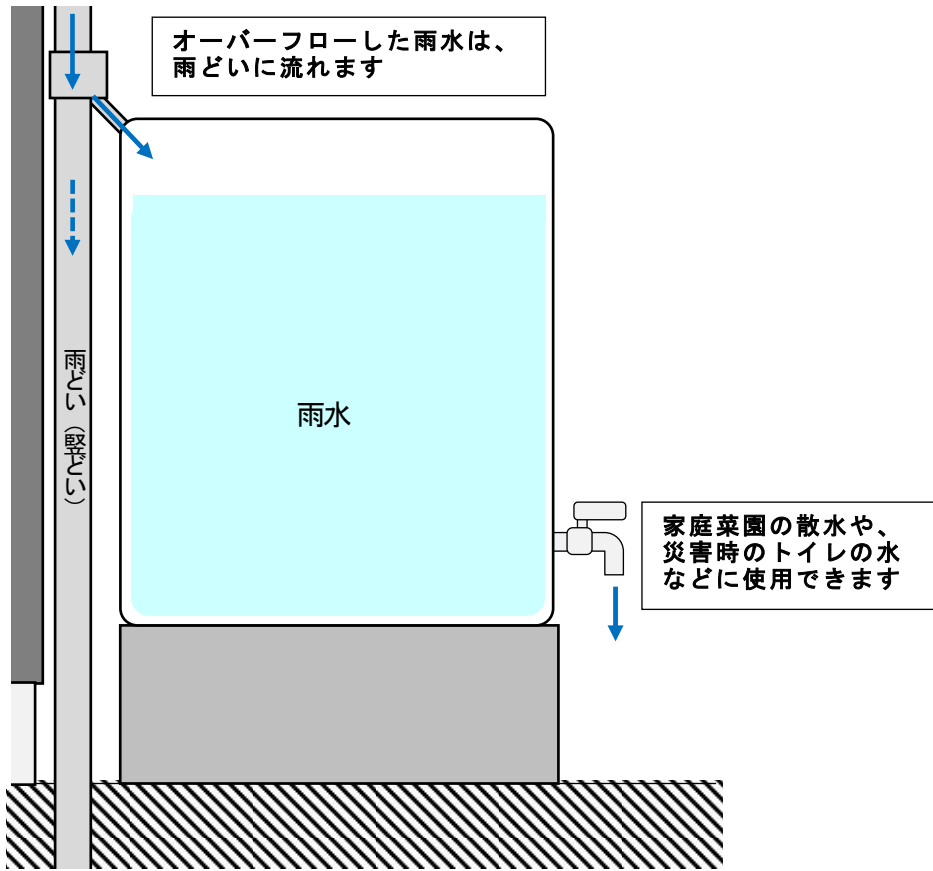


【参考】最小値

浸透管口径	φ 75	φ 100	φ 125	φ 150	φ 200
H : 碎石高さ	289mm	314mm	340mm	365mm	416mm
W : 碎石幅	289mm	314mm	340mm	365mm	416mm

雨水貯留施設標準構造図

雨水貯留槽（雨水タンク）



雨水貯留槽（浄化槽転用）

